

平成25年度に
取り組んだ主な事業

平成25年度は、第5次基本構想・前期基本計画の着実な推進に向けて、安全・安心なまちづくりをはじめとして、学校施設の整備や子育て支援施策の充実、計画的なまちづくりの推進など、各分野において市民要望や時代の潮流に即したきめ細かな事業展開を図りました。

- 小中学生の医療費の無料化を継続しています。 4億874万円
- 平成26年4月開園の針ヶ谷保育園の施設整備に補助を行いました。 1億6,920万円
- 休日保育を行う富士見れんげ保育園へ運営費を補助しました。 3,169万円
- ふじみ野放課後児童クラブを3クラブ制に分割しました。 指定管理料総額 2億4,797万円



子育て支援・教育の充実



小中学校にエアコンを整備

- 小中学校の教室にエアコンを整備しました。 6億6,725万円
- 針ヶ谷小学校、水谷小学校、富士見特別支援学校の大規模改造工事を行いました。 4億1,067万円
- 勝瀬小学校、水谷東小学校、本郷中学校、勝瀬中学校のトイレを改修しました。 1億1,734万円
- 中学校へ学習支援員を配置しました。 615万円
- 小中学校、特別支援学校の学校用図書を充実しました。 1,290万円

- 鶴瀬駅東西口で土地区画整理事業を推進しています。
鶴瀬駅東口土地区画整理事業 5億3,350万円（特別会計決算額）
鶴瀬駅西口土地区画整理事業 6億4,980万円（特別会計決算額）
- 水子貝塚東土地区画整理事業に補助を行いました。 2,000万円
- 上沢公園の整備を進めました。 2,865万円



暮らしやすいまちづくりの推進

- 市道第904号線（上沢3丁目）の整備を進めました。 6億6,461万円
- ふじみ野駅東西口駐輪場の収納ラックを更新し、駐輪台数を増やしました。 8,369万円
- ふじみ野出張所等多目的公共施設の建築設計を行いました。 1,029万円
- 市役所にパスポートコーナーを開設しました。 264万円



ふじみ野出張所等多目的公共施設完成予定図

- 地域防災計画を改訂しました。 214万円
- 避難所の災害時備蓄品の充実を図りました。 902万円
- 35団体の自主防災組織に補助を行いました。 345万円
- 富士見橋の耐震補強工事を進めました。 5,527万円
- 南畑および水谷東公民館の耐震補強とエレベーター設置工事などを行いました。 1億2,947万円



安全・安心、福祉の充実

- 市民後見人の養成および成年後見センターを開設しました。 236万円
- 障がい者相談支援センターを開設しました。 1,403万円
- 高齢者肺炎球菌ワクチン接種の助成年齢を65歳以上に拡大しました。 290万円

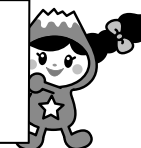


市民福祉活動センター
ぱれっと内に成年後見センターを開設



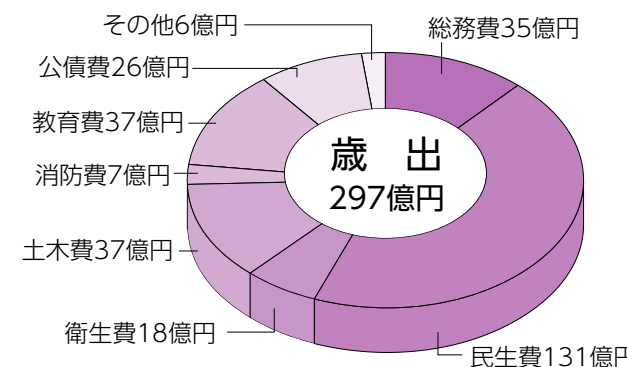
平成25年度のお金の使いみちをお知らせします

～ 一般会計決算の概要 ～ 問合せ/財政課 ☎231



平成25年度一般会計決算額

歳入(収入)は前年度と比べて15億9,206万円増の308億1,446万円、歳出(支出)は前年度と比べて15億4,203万円増の296億6,726万円となり、翌年度に繰り越すべき財源5億1,388万円を除いた最終的な収支は、6億3,332万円の黒字となりました。歳入歳出とも平成13年度に次ぐ過去2番目の決算規模となっています。

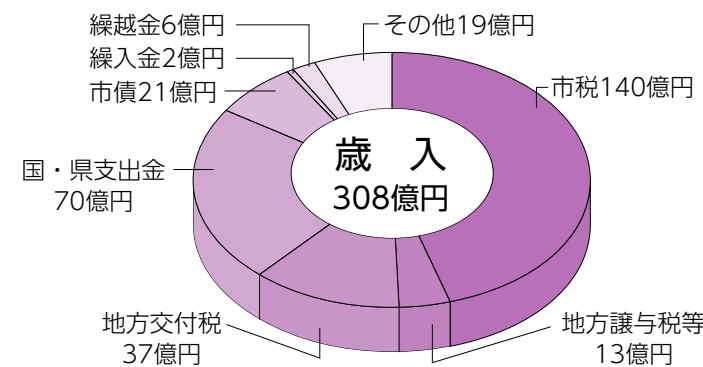


市民1人当たりに使われたお金

272,439円 (前年度比+11,996円)

歳出(支出)の主な特徴

- エアコン設置など小中学校の施設整備などにより教育費が増えました(10.3億円の増)。
- 市道第904号線の整備などにより土木費が増えました(9.9億円の増)。
- 入間東部地区消防組合の旧本部庁舎敷地などの売却により同組合への負担金が減少したことにより消防費が減りました(4.7億円の減)。



市民1人当たり市税負担

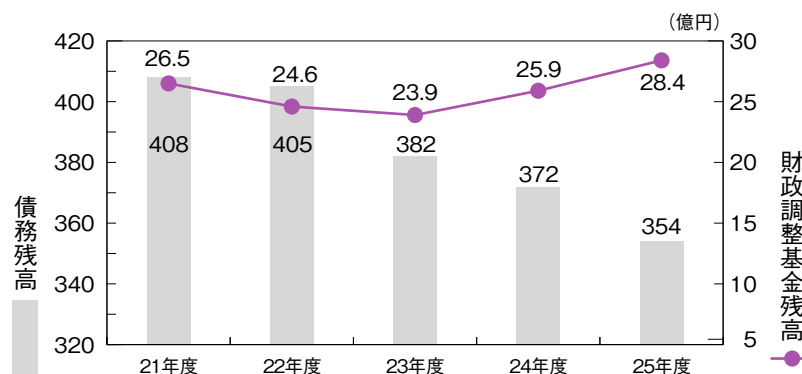
128,813円 (前年度比+1,034円)

歳入(収入)の主な特徴

- 新たなまちづくりの進展などにより市税収入が増えました(2.3億円の増。過去2番目の税収規模)。
- エアコン設置など小中学校の施設整備に伴い国庫支出金が増えました(8.5億円の増)。
- 小中学校へのエアコン設置などに伴い市債収入が増えました(4.9億円の増)。

財政運営判断指標	平成25年度 決算実績値	平成24年度 決算実績値
財政力指数 ※1	0.753	0.749
経常収支比率 ※2	85.6%	88.7%
財政調整基金比率 ※3	14.7%	13.5%
地方債残高比率 ※4	111%	115%
債務償還可能年限 ※5	4.1年	4.7年

※1 財政基盤の強さを表すもの。指数が大きいほど財政力が高い。
 ※2 財政構造の弾力性を表すもの。比率が低いほど弾力性が高い。
 ※3 標準的な1年間の収入に対する財政調整基金残高の割合。
 ※4 標準的な1年間の収入に対する地方債残高の割合。
 ※5 負債総額が返済可能な規模となっているかを表すもの。



債務残高 354億円

前年度比 18億円の減
(市の全会計の債務残高合計)

貯金額 28.4億円

前年度比 2.5億円の増
(財政調整基金の残高)

財政健全化の状況

債務と貯金の状況

国基準(健全化判断比率)

法に基づく健全化判断比率は、すべての指標において基準値以下の数値であり、健全な財政状況を維持しています。

本市独自基準(財政運営判断指標)

条例に基づく財政運営判断指標は、前年度に比べすべての数値が好転しており、財政健全化に向けた取組みの効果が表れています。